

ていねいな いいかた

文には、ふつうの いいかたと ていねいな いいかたが あります。

ふつうの いいかた → ていねいないいかた

- いっしょにかえろう。

→ いっしょにかえりましょう。



- もうしない。

→ もうしません。



- 本を十ページよんだ。

→ 本を十ページよみました。



- とりがとんでいる。

→ とりがとんでいます。



ことばと ことばの つながり

「は」「が」「を」「と」「の」「に」などは ことばと ことばをくっつけます。

いぬ と ねこ



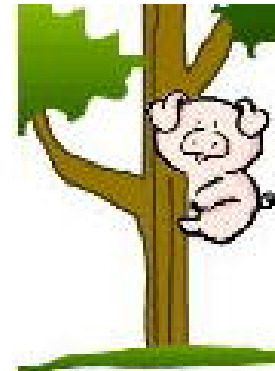
かえる が なく



かき の み



木 に のぼる



くっつける ことば ①

ことばと ことばを くっつける 「は」「が」「を」「と」「の」「に」「へ」のつかいかたを おぼえましょう。

・くっつき の と



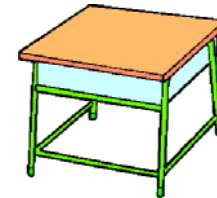
あめと
チョコ

・くっつき の に



くるまに
のる。

・くっつき の の



つくえの
上

・くっつき の が



ありが
いる。

・くっつき の を は へ

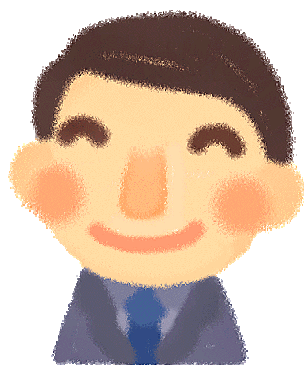
パン を たべる。
コアラ は かわいい。
えき へ いく。



くっつける ことば ②

くっつける ことばを おぼえましょう。

- おとうさんは やさしい。



- てをあげる。



- やまへいく。



くっつける ことば ③

くっつける ことばの あとの いいかたにも 気をつけましょう。



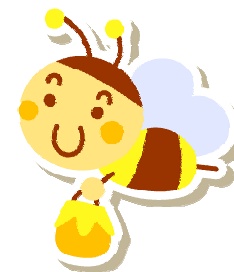
ほんをよみます。 ほんをよみません。 ほんをよみなさい。

• くるま に のる

• テレビ を みる

• はち が とぶ

• ここ へ きて ください



「、」(てん)のつかいかた

文を よみやすく するために、とちゅうで てん(、)を うちます。
文の いみを わかりやすく するときにも てんを うちます。

てんのきまり

- ・ 文をよみやすくする。
あたまがいたいから、もうねるよ。
- ・ 文のいみをわかりやすくする。
ここから、はきものを めいで ください。

ここからは、きものを めいで ください。



「。」(まる)の つかいかた

文の おわりには かならず まる(。)を つけます。

水とりは しずかな いけに すんで います。
ぬまにも います。 足には 水かきが ついて
います。 からだは 水に よく うかびます。
水の 中の 小さな いきものや さかなを
とって たべます。

「。」を わすれ
ないように 気を
つけましょう。



「 」 (かぎ) のつかいかた

人がいったことばには、かぎ（「 」）をつけます。

かぎの きまり

- 人のいった ことばに つける。

おかあさんが、

「しゅくだいを しなさい。」
と、いった。



「先生、おはようございます。」

「おはよう、まゆみさん。」

